

SUPPORT NEWS

あなたの想いを、私の想いをかたちにしたい・・・
地域福祉の観点からだれもが自分らしく生きていける社会を目指します。

NPO法人 地域福祉サポートちた

もくじ

□総働の話し合いの場をつくる

養成塾始まる・・・ 1P

□フォトレポーター養成講座・・・・・・ 2P

□会員団体紹介「楽笑」・・・・・・ 2P

□日福大サービスラーニング報告・・ 3P

□中学生職場体験報告・・・・・・ 3P

□NPO職員リレー・・・・・・ 4P

□インフォメーション・・・・・・ 4P

総働の話し合いの場をつくる養成塾始まる



7月30日事前研修会講師、川北秀人氏による「総働」を聴き入る参加者ら

単体では難しい地域課題解決に向け、地域エリアを限定しながら、連携・協働推進のための連続協議体を創っていく「仕掛け人」としての

コーディネーター

＝「縁結び人」を養成する塾が始まりました。

これは、国においては2010年から「社会的責任に対する円卓会議」として、また愛知県においては2009年「協働ロードマップモデル事業」として開催されてきたものを参考に、2005年から本法人で行ってきた「知多地域NPOと行政の意見交換会」以降の自主・委託事業と各団体を核とした、市町ごとのネットワーク会議や実行委員会などを事例とし、研修プログラムを作成したもので、24年度愛知県新しい公共支援事業に採択された人材育成事業です。

7/30に行った事前研修会には、NPO・行政・地域関係者など125人が参加、IHOEの川北秀人さんを講師に迎え、「10年後の愛知県に備えて、今、求められる人「交」密度のまちづくり～今後、なぜ円卓が重要か？」を聴きました。

その後のグループワークや質疑タイムには、地域での実践者松下典子さん、島田善規さん、神谷典江さんからのアドバイスが加わり、「そもそも誰が仕掛けるか？」の問いには、川北さんが「中間支援機関が腹をくくるべきだ」と回答、公設市民活動センターや社会福祉協議会関係者を鼓舞されました。

この日の疑問を解決する集合研修第1回目は、8/20に開催。総働の話し合いの場は、地域ネットワークがあれば比較的設置しやすい、あるいは総働の話し合いの場の成果として地域ネットワークの生成が進む、という視点から、松下典子さんが「知多半島のネットワーク形成」を、地縁域の実践者、村上真喜子さんが「地域のお宝発見！～童話の村秋まつり～」を講演。事例を通じて、縁の結び方、利害対立する人との合意形成、継続性の保ち方など学ぶことができました。



村上真喜子氏、半田市の岩滑「童話の村秋まつり」を語る

塾生は、9月6日、20日の集合研修で具体的な総働の話し合いの場づくりを学び、2会場でのモデル協議に参加しながら、自分の地域での実践準備を行っていきます。

地域をつむぐ「縁結び人」養成塾

□■モデル協議 日程■□

【南粕谷】

会場 知多市立南粕谷小学校 生涯学習ルーム
日時 9月26日(水)、10月23日(火)、11月22日(木)、
12月4日(火)、12月26日(水) 19:00～21:00

【阿久比】

会場 阿久比町中央公民館
日時 9月28日(金)、12月21日(金) 13:00～15:30
10月26日(金)、11月7日(水)、11月29日(木)
9:30～12:00

※塾生以外の参加希望も受け付けています。

問合せ先 電話:0562-33-1631 (江ノ上)

■フォトレポーター養成講座 ～認知症にやさしいまちにしよう～

認知症サポーター養成講座(通称:オレンジリング)の受講から始まったフォトレポーター養成講座は、8月2, 3, 23日の3日間で終了した。23名の受講生は今後、フォトレポーターとして、まちの情報を発信するボランティアとして活躍する予定。

認知症の人は何もできない、何も分からない人ではない。しかし社会に正しい認識が広まらず孤立した介護では、毎日の暮らしへの不安は大きく、その家族の負担は増えるばかりである。たすけあい活動を実践するNPOは、その負担を分かち合う存在として地域の中で活躍する一方で、さらなるニーズの掘り起こしや活動への寄付、ボランティア参加の呼びかけ等情報を発信しているが、その広がりや遅々として進まないのも現実だ。



「まちのたね通信」は、地域のニーズが見えるメディアとして、共感をつくり、主体的に行動する第3者のネットワークをつくる

そこで、フォトレポーターの「ロコミ」情報が、第3者であることの信頼性と写真の持つ共感性で情報の「見える化」をつくり、情報

を交わすリアルな人のつながりを結び付け、情報流通を促す一つのツールとして、Webサイト(※1)「愛知まちのたね通信(仮称)」が今年9月開設される予定。また、この取り組みは、コミュニティ・ユース・バンクmomoを中心に刈谷市、名古屋市、知多地域の3地域で行われており、今後県内他地域にも拡充し、NPO等への信頼と支援を促す。

この情報流通の取り組みと同時に、運営が難しい地域福祉課題に向き合うNPO等には、資金支援による基盤整備が必要で、これもコミュニティ・ユース・バンクmomoが中心となり、愛知県下での「市民ファンド」づくりを進めている(地域内"志金"循環(お金の地産地消)推進事業)。この市民ファンド設計の呼びかけ人22名中6名にサポートしたネットワークのメンバー(※2)が名を連ねている。(市野)

※1. 「Webサイト」について

愛知県・平成24年度新しい公共支援事業「新しい公共の場づくりのためのモデル事業(市町村対象)」の対象事業として選定され、2012年9月に開設、運営さ

れる。この事業の事務局は、「NPO等情報流通促進協議会(構成員:刈谷市、株式会社デンソー、コミュニティ・ユース・バンクmomo)」。

※2. 「メンバー」紹介 (敬称略・50音順)
大久保智規(エンド・ゴール)、岡本一美(サポートちた)、久野美奈子(起業支援ネット)、戸枝陽基(むそう)、星野博(志民連いちのみや)、村田元夫(ピー・エス・サポート)

＊会員団体紹介＊

「NPO法人楽笑」

障害のある方の生活支援、就労支援のNPOを立ち上げ5年。蒲郡市三谷町のちくわなどの『水産加工品』を使ったパン工房八兵衛、干物のネット販売も手掛ける酒菜屋十兵衛、「練右衛門(ねりえもん)バーガー」のB級グルメ販売カーなど、ユニークな事業を展開している。

代表の小田さんは、生まれ育った町で、地域の仲間を巻き込み、「まちづくりと福祉の融合」を図る。

2012年3月、3つ目の拠点禄兵衛を立ち上げた。1・2階は自閉症強度障がいの方向けの構造化されたスペースも確保した生活介護事業、3階は事務所として活用している。(五十嵐)



↑写真上:パン工房八兵衛
←写真左:酒菜屋十兵衛

：＊ ☆：☆．＊．．：＊会員のお知らせ．＊．＊☆．＊．＊

★研究ノート発行

名古屋短期大学現代教養学科 専任講師 倉田あゆみさんが、オーストラリア研究から日本の介護者支援政策への「提言」をまとめ、「国民生活研究」第52巻第1号(2012年6月)に掲載されました。

★新会員紹介 ご入会ありがとうございます。
久本 強 様／正会員(個人)

☆．＊：．＊☆．＊．．： ☆．＊：．＊☆．＊．．： ☆．＊：．＊

日本福祉大学 サービスラーニング報告

サービスラーニングとは、地域貢献活動を通して社会への問題意識を育むための学習プログラムです。日本福祉大学では2年次に実際にNPO法人等の現場に赴き地域の人と関わる活動を行っています。

サポートちたを選んだ学生が、気づきとふりかえりを積み重ねながら、「学ぶ、繋がる、やり遂げる」力を高める活動に取り組んだ。



子どもたちのリクエストに応えてバルーンアートを作る様子

内容は、～手づくりカフェ～Ada-codaでワンデイシェフを行ない、得意なバルーンアートを行うというもの。8月20日(月)のイベント当日は『パフォーマーズカフェ』の屋号で営業した。企画内容を練りつつ、準備や広報などの活動を経て迎えた当日は、学生たちが考案したメニューをAda-codaのスタッフによる衛生管理の元、学生たちが調理した32食を完売させた。食事後にはバルーンアートを行い、サポートちたの関係者による手品も企画に取り入れ、場を大きく盛り上げた。(竹内)

活動を通して・・・

こんにちは。私たちは日本福祉大学社会福祉学科地域福祉コース2年の荒井大輝と長谷川皓己です。

今回私たちは、サービスラーニング活動の一環としてサポートちたで6日間活動させていただきました。活動の目的としては、自分たちで能動的に市民活動を行って多くの市民の居場所としては分かりやすく多くの人に参加しやすいワンデイシェフを、新しく自分たちなりの企画も組み合わせる運営してみようと思いました。

私たちは、お客様を寄せるためのビラを作ったりする広報活動の始動が遅く滞っていました。そこで、サポートちたの広い人脈を活用させて頂き、直接近隣のNPO法人などに赴き、広報を行いました。このことで当日の34人という集客数に繋がったと思います。それでも、呼びかけた人と実際に来られた人数の比率が割に合っていませんでした。こういった企画を実行するのは様々なリスクと戦わなければいけないし、人の興味を惹く効果的な広報の難しさも実感できました。

パフォーマーズカフェは当初、食事とバルーンアートだけの予定でしたが、広報活動中の施設で知り合ったお2人が手品を披露してくれるということになりました。それによって企画がより充実したものとなりました。



手品を共に盛り上げる学生達

今回の企画は、サポートちたの皆さん、関係者の皆さん、そして、地域の市民の皆さんのご協力がなければ成功することができませんでした。そして、私達のサービスラーニングにおける今後の地域福祉学習の発展のきっかけになりました。本当にありがとうございました。

(荒井 長谷川)

「あいち・出会いと体験の道場」～中学生職場体験～報告



Ada-codaでは平成18年度より「あいち・出会いと体験の道場」応援団として中学生の職場体験を受け入れ、社会の成り立ちについての理解や働くことの意義、責任感、あいさつ、言葉づかいの大切さなど、社会性を身につけてもらうため、生徒の主体性を優先した3日間のサポートを実施しました。

旭南中2年(知多市)3名がワンデイシェフを体験した。料理が好き、接客を学びたい、料理を作りたいと、それぞれの参加動機は様々に職場体験の3日間を無事終了させた。メニューからチラシ作成などの広報を全て自分たちで行い、3日目の8月8日(水)当日は、準備した20食を完売した。緊張と不安いっぱいだった体験だったが、お互いの得意・不得意を3人で協力しながらやり遂げた彼女たちの顔には笑みが溢れ、スタッフも達成感と成長を共有した。(江端)



サポちた インフォメーション

会員さんなどから集まる情報をお知らせします。お気軽に情報をお寄せ下さい。

■わくわく みずほまつり

名古屋市瑞穂区のネットワークグループ「みずほたすけ愛ネット」が主催する、ボランティア・地域住民の交流事業。出店(かき氷、産直野菜、焼きそば、みたらし、焼鳥、もちつき等々)サークルの発表・展示など盛りだくさん。

<日時>9月16日(日) 10時～16時

<会場>瑞穂区在宅サービスセンター及び汐路コミセン

<問合せ>(N)すけっとファミリー(北嶋) ☎ 052-861-6047

<そのほか>すけっとファミリーは4月に引越しをして3カ月が経ちました。新しい地域での活動に意欲を燃やしています。是非近くにお越しの節はお立ち寄りください。

■恒例! ふれ愛 謝恩バザー

日頃お世話になります地域の皆様と一緒に楽しいひと時を楽しみましょう。日用品・雑貨・衣料等友人仲間と出店可能。

<日時>9月23日(日) 10時～14時

<会場>ふれ愛駐車場(東海市養父町苅宿 31-1)

<内容>綱引き、障がい児親子太鼓、シャボン玉コーナー、模擬店(焼鳥、団子、うどん、パン、カレーライス)

■ふれ愛 スタッフ(送迎ヘルパー)募集

勤務・給与は面談の上要相談。

<問合せ>(N)東海市在宅介護家事援助の会ふれ愛

☎ 0562-36-0085

■ありがとう! おかげさまで 10周年

NPO 法人ゆめじろう設立 10周年記念企画「田んぼ de ミュージカル」上映会+座談会「まちを元気にしよう!」を開催。出演者平均74歳。企画も撮影も演出もすべて初めてというお年寄りたちが作った自慢の映画です。棒読みのセリフが観る人の心をぐいぐいと掴みます。

<日時>9月29日(土) 13時半～16時

<会場>ゆめたろうプラザ輝きホール(武豊町大門田 11)

<上映協力金>500円(お楽しみ抽選券つき)

<チケット取扱>ゆめじろう事務所、喫茶ゆめひろば、ゆめたろうプラザ(入場された皆様に、もれなく記念品プレゼント)

<申込問合せ先>NPO 法人ゆめじろう ☎ 0569-72-2963

■音楽療法実技研修会・沢田音楽療法

<テーマ>音楽療法でリハビリを <定員>15名

<日時>10月13日(土)10時～、14日(日)9時半～

<会場>加木屋水利会館(東海市加木屋町柿畑 65-17)

<参加費>一般30,000円、学生25,000円(教材・CD含)

<問合せ>音楽療法士(沢田) ☎ 0562-34-4516

NPO担当職員リレー

瀬戸市交流活力部交流学び課学び係長 杉江圭司氏



むかしから人と関わることが大好きで、座右の銘は一日一回笑うこと。「笑えば幸せが伝染しますよ」と、笑顔がよく似合う。市民活動団体と関わることで優しさを教わったという。

平成17年に開催された愛・地球博に向け、会場の通過点となる瀬戸市は、輸送計画のない時より来場者をもてなすためのボランティア育成の仕組みを社協、国際センター、観光協会に呼び掛け、参画の核をつくった。また、博覧会が終了した翌年の2月には、養成された約1,300人のボランティアの中から瀬戸市が好きで、継続してまちの案内等をしてくださる人へ呼びかけを行い、ボランティアとして再びまちづくりへと巻き込んでいった。しかし、ボランティアのモチベーションは、関わり方一つですぐに消えてしまう怖さも知る。

平成11、12年は(財)世田谷区都市整備公社まちづくりセンター(現(財)世田谷トラストまちづくり)への民間派遣で、2年間市民参画のまちづくりにどっぷりと浸かりワークショップの手法を学んだ。

プライベートとして、商店街の中にある小屋(末広亭)を借りて、落語文化を広める市民活動に誘われ約3年前から関わるようになる。年4回の寄席をはじめ規模の大きな新春寄席を切り盛りする中で、広報や出演者交渉等を5人のメンバーで分担しながら、市民活動の苦勞を知る。

市民の方に支えてもらいながら今がある。みんな人がつながり、生かされ、暮らしが成り立っている。だから、若い人(若い職員)にもっとまちづくりの活動に触れてもらいたいと熱く語った。(市野)

NPO現場見学バスツアー

9月18日(火)、10月18日(木)

11月20日(火)、12月20日(木)

時間:9:30～16:30

参加費:5,000円(昼食代別途)

オプションツアー常時受付中!

目的に合わせて企画します。(江端)



特定非営利活動法人
地域福祉サポートちた

478-0047 知多市緑町12-1

知多市市民活動センター1階

Tel 0562 (33) 1631

Fax 0562 (33) 1743